

可燃ごみ処理施設専門家委員会について

■設置目的

施設の稼働における事象で、学識経験者の見解を得て対応することが望ましい内容について検討すること。

■検討事項

1. 公害の防止、対策に関する事
2. 公害の監視方法に関する事
3. その他周辺環境の保全について必要な事項

■委員

- ・委員長：宮脇健太郎氏（明星大学理工学部教授）…環境影響評価、環境負荷
- ・副委員長：荒井喜久雄氏（全国都市清掃会議 技術指導部長）…廃棄物処理の調査研究・提言
- ・委員：櫻井達也氏（明星大学理工学部教授）…環境影響評価、大気汚染
- ・委員：荒井康裕氏（東京都立大学都市環境学部准教授）…廃棄物処理、リサイクル分野

■第3回委員会（令和5年8月2日）での主な意見

1. 施設より排出される排ガス中水銀濃度の公害防止基準値超過について、施設からの公表手順・方法にて、周知の効果・反響もある様子である。次のステップとして、施設に搬入される可燃ごみ中に水銀が混入しないよう周知し、ごみを出す皆様にごみの分別について協力をお願いすること。
2. 水銀回収キャンペーンの継続実施について、構成市にて丁寧かつしっかりと取り組んでいく必要がある。3市でごみの分別について啓発を継続すること。
3. 現在HPで公開している環境定点測定の測定結果について、「1時間の1日平均の基準」や「1時間値の基準」などの基準が混在している状態である。結果を見た方が誤解しないよう、記載方法を再確認すべき。
4. 市民の方からの要望である「環境定点測定の実施場所の追加（特に臭気測定）」について、第3回専門家委員会の議論の中で学識より出た意見を元に、組合にて検討し、追加実施の要望場所（北川原公園）の所在地である日野市、構成3市ともよく話し合い結論を出すこと。

■第4回専門家委員会

令和6年2月20日（火）午前10時から開催予定